

広報ふじ

昭和39年6月1日発行

定価 1部 2円

財政事情の公表

あなたの税金は富士市の未来を築きあげています

38年10月1日～39年3月31日迄の6ヶ月間。

私達の住む富士市をより住みよく、より文化的な都市に育てることは、五万市民の等しく願うところであり、市政は常にこれを目標に運営されなければならぬことは勿論であります。その市政は、申すまでもなく財政によつて支えられ、市財政は、その大半が皆様の納められた税金によつて支えられています。その税金が一体市民のために、どのように使われ、それによつてどのような福祉を受けているかを知ることが、市民の皆様のもっとも関心事と思つておられます。市のおお所のありのままの姿を皆様にお知らせしてまいります。今回は去る昭和二十九年市制施行以来丁度十年になりますので、特に市財政十年の歩みを中心として昭和二十九年下半期の予算と、その執行状況の概況を中心として市財政の動きをお知らせしたいと思います。そして市民の皆様がこの市財政の事情を御理解いただくとともに、今後各般の市の行政に一層のご協力とご支援をお願いする次第であります。

財政10年の歩み

著しい市勢の伸長

明のい希望と遠大な理想に燃えて、市制を施行してから本年は十周年を迎えました。その歩みは、決して容易ではありませんでしたが幸い、日本経済の伸張と当市の想望された産業の立地条件が一致し、市勢の進展も

く、財政収支の均衡を保持したことは次第でありました。以来今日に至るまで時により経済界の好、不況の波はありましたが、健全財政の基本方針を貫き現在東駿河湾工業整備特別地域の拠点都市として発展の一路をたどりつつあります。特に昭和三十四年から続いた神武、岩戸景気の中にあつて、地方財政は逐年好転し、国家経済の発展ひいては国民生活の安定充実に資し、当市の財政も着実な歩み

を続けて来ております。それは、田子浦港整備事業の着手に始まり、旭化成富士工場の建設誘致を成就させ、一万土木建設事業の積極的な推進を計り、県、市道の主要路線を中心とした、市内道路網の整備拡張、及び富士駅舎改修事業に併せて、駅周辺の一大土地区画整理事業を進めつつ又一方で若松小学校、第二小学校、南中学校、田子浦小学校等を逐次整備し教育施設の充実を図つてまいりました。転じて市内各種大企業は、飛躍的な国の経済成長と歩調を合わせ技術革新及び設備投資を続け、いわゆる投資ブームの中にあつて、中小企業の進出もまた目覚ましいものがあります。この傾向は自づと人口の増加となつて現われ、市の容態は急速に変貌しつつあり、住宅建設を初め、環境衛生施設整備事業等の必要性が高まり、これ等事業も逐年推進してまいりました。

こうした主要事業を取りあげるだけでも、その投資的経費は莫大な額となり財政規模の増大も著しいものがあります。その実態を計数的にみてみますと、一般会計の昭和二十九年市制施行の年の最終予算は、二億九千二百万円でありましたが、昭和三十四年度は約一、六億の四億六千九百万円に増え、昭和三十五年年度には一、二億の六億二千万円に、又翌三十六年度には、実に三倍の九億五千余万円に増大し、躍進の推移がうかがわれます。しかし昭和三十七年度に

入る国の景気調整策と貿易自由化対策はまきびしく当市の財政を圧迫し、その減税政策は、市財政の根幹である市税収入のうち、電気ガス税の税率引下げ及び非課税範囲の拡大となつて大巾な減収を余儀なくされ、又市民税における法人税割の減収ともなり、市の財政は極めて悪条件に置かれたのであります。こうした税収の鈍化に反して、産業基盤整備事業や、市の発展のための公共投資は増高し、財政の健全性についてようやく警戒を要する局面に立ち至つたのであります。財政収支の均衡を保ちつつ、行政水準の向上を図る目的に常々徹して、市は重要施策の積極的推進に乗り出したのであります。昭和三十八年度に入つても日本経済の動向は前年同様の横ばい状態であり市財政の緊迫の度合は強まる一方でありましたがこの年には国の東駿河湾工業整備特別地域の指定と引続き田子浦港の重要港湾としての指定があり、地方開発の拠点都市として、その重要性が認められるに至り、当市の建設事業はいよいよ時に具体化の情勢となつてまいりました。市はこの年の当初予算編成に当り、過去に万全を期し得なかつた重要施策の充実に意を注ぎ重点的な事業の採択に慎重を期し効率的な執行を真剣に考へて、八億三百余万円のスタートを切つたのであります。又この年に

至つては田子浦港整備事業及び富士川用水建設事業を中心とした二連の継続的建設事業が逐次完成の域に達し、特に田子浦港においては、すでに船舶が出入しつゝあり、農工業用水の確保のための軍士川用水は本年四月その通水を見るに至りました。更に国鉄新幹線通過に伴う田子浦小学校の移築は見事に完成し、又身延線の西廻りと、富士駅舎の改築も目下着々と事業が進捗中であり、その外にも道路橋梁の改築整備、都市計画事業及び住宅建設、環境衛生施設整備等都市的形態整備のための建設事業は今後の市勢の進展に備へて着々と進められていく状況であります。

以上市財政十年の概況であります。この間多少の起伏はありましたが、大体において順調に歩んでくることができたと思つて、市民の皆様と共に喜び申し上げる次第であります。しかし今後の地方財政の一般的な傾向として、また当市の諸般の情勢から考へて、引き続き、財政収支の増大にみかへて、市税収入の伸びなども等により、財政運営はますます容易なるものがあると思つて、最善の努力を傾注して大富士市建設のため、積極的に進進したいと考えております。

とじ込んで保存して下さい